

# 目 次

I	平成16年度の博物館運営	
■	事業の概要 ● 日誌抄	3
■	統計資料 ● 平成16年度当初予算 ● 月別入館者数	4
■	出版活動 ● 平成16年度の出版物 ● 図書販売実績	5
■	施設管理 ● 第2展示室利用状況	6
II	展示公開事業	
■	企画展「新選組流山に入る」	7
■	企画展「新選組流山に入る」関連事業	8
■	企画展「ちょっと昔のくらし」	9
III	教育普及事業	
■	ふるさと入門講座「流山今は昔コース」「石仏コース」	11
■	ふるさと入門講座「考古学コース」	12
■	博物館子ども教室	13
■	博物館実務実習生の受入 ■ 講師派遣	14
IV	調査研究事業	
■	企画展事前調査「吉野誠に関する調査研究」	15
■	企画展事前調査「流山の醸造業」	15
■	企画展事前調査「ちょっと昔のくらし」	15
■	企画展事前調査「新選組流山に入る」	15
V	市史編さん事業	
■	市史編さん活動 ■ 教育普及事業	16
■	調査研究事業	19
VI	収集保管事業	
■	新収蔵資料	20
■	二次資料 ■ 資料の館外貸出	21
■	資料の撮影・転載許可	21
VII	流山市立博物館のあらまし	
■	設置の目的 ■ 沿革	22
■	施設概要	24
■	設備概要	25
■	平成16年度博物館組織 ■ 流山市立博物館協議会委員	26
■	流山市史編さん審議会委員 ■ 職員(平成16年度) ■ 臨時職員	27
VIII	一茶双樹記念館利用状況	28
IX	杜のアトリエ黎明利用状況	30
X	博物館友の会活動状況	32

# I 平成16年度の博物館運営

## ■ 事業の概要

本年度は、NHK大河ドラマ「新選組！」の放映にあわせ、本市では新選組流山隊実行委員会が組織され、新選組関連事業の実施による「まちおこし」が積極的に展開された。博物館では、NHK千葉放送局と共催でNHK「新選組！」展を、また第1回企画展では「新選組流山に入る」を開催した。企画展では、新選組が敗北を喫する鳥羽・伏見の戦いから流山に至るまでの足跡を追い、なぜ新選組が流山に入ってきたか諸説を紹介し、観覧者とともに考えた。

第2回企画展では前年にひきつづき「ちょっと昔の暮らし」を開催した。これは小学校4年生の社会科単元「きょうどにつたわるねがい」で、100年くらい前から現在に至るまでの道具や暮らしの移り変わりを学習するのに対応した展示である。

教育普及事業では、ふるさと入門講座として3コース「石仏コース」・「流山今は昔コース」・「考古学コース」を実施し、さらに、学校週5日制に伴う余暇利用の一貫として「博物館子ども教室」（茶道教室・絵画教室・勾玉づくり等）を開催した。また、博物館案内パンフレットを発行し、催し物スケジュールを掲載した。

収集保管事業では、市民から民俗資料等25件449点の寄贈を受け入れた。

調査研究事業では、当該年度の企画展の調査をはじめ、昨年度からの「流山の醸造業」の調査成果をまとめた調査研究報告書『流山の醸造業Ⅱ【本文編】』を刊行した。

市史編さん活動事業では、古文書解説講座・資料探索講座・市内史跡巡りなどを実施した。

## ● 日誌抄

4月24日	子ども教室「茶道教室等」（全12回）	10月3日	第2回企画展「ちょっと昔の暮らし」～（11/28）
4月25日	市内史跡巡り	10月31日	消防訓練
6月25日	博物館協議会開催	11月20日	市内史跡巡り
7月1日	NHK大河ドラマ「新選組！」展～（7/11）	11月21日	「考古学コース」（全4回）
7月4日	「流山今は昔コース」（全4回）	12月4日	ミニ企画展「懐かしの流山」写真にみる日々の暮らし～（1/26）
7月17日	第1回企画展「新選組流山に入る」～（9/19）	3月18日	市史編さん審議会開催
8月1日	土器に残された記録 東日本最古の墨書土器展示 ～（8/29）	3月9日	ミニ企画展「博物館ミニヨン展」子ども絵画教室作品 ～（3/31）
8月8日	講演会「新選組の子孫と語る会」		
9月4日	「石仏コース」（全4回）		

## ■ 統計資料

### ●平成16年度当初予算

(単位：千円)

事業名	予算額	事業名	予算額
博物館事務管理事業	1,498	市史編さん活動事業	2,002
博物館活動事業	15,179	流山市史通史編刊行事業	2,800
博物館施設管理事業	15,695	流山市史年鑑刊行事業	917
一茶双樹記念館維持管理事業	7,894		
杜のアトリエ黎明維持管理事業	3,577	合計	49,562

※職員の人件費は上記予算に含まない。

### ●平成16年度月別入館者数

区分 月	個人	団体		計
		入館者数	団体数	
4月	2,453人	292人	4団体	2,745人
5月	2,674人	301人	6団体	2,975人
6月	2,037人	233人	6団体	2,270人
7月	7,315人	149人	4団体	7,464人
8月	6,343人	128人	4団体	6,471人
9月	5,103人	44人	2団体	5,147人
10月	3,874人	745人	14団体	4,619人
11月	3,499人	687人	16団体	4,186人
12月	1,984人	46人	1団体	2,030人
1月	1,783人	57人	2団体	1,840人
2月	2,838人	66人	2団体	2,904人
3月	1,830人	102人	5団体	1,932人
合計	41,733人	2,850人	66団体	44,583人

## ■ 出版活動

### ● 平成16年度の出版物

名 称	判	頁	部数
『流山市立博物館年報 No.26』	A4	36	460
調査研究報告書22 『流山の醸造業Ⅱ【本文編】』	A4	134	700
『流山市史・通史編Ⅱ』	B5	938	400

### ● 平成16年度 図書販売実績

書 名	頒価	販売数	書 名	頒価	販売数
4 流山の絵馬と額	1,260	10	流山市史研究 第5号	1,260	1
5 流山の石仏	1,890	3	流山市史研究 第6号	1,150	1
6 流山の職人	1,470	2	流山市史研究 第7号	1,260	—
7 流山の農業	840	—	流山市史研究 第8号	1,150	2
8 流山の講	1,360	2	流山市史研究 第9号	1,150	1
9 流山の衣生活	1,050	—	流山市史研究 第10号	1,260	2
10 河川と流山	1,360	8	流山市史研究 第11号	1,150	4
11 流山の屋敷神	1,470	1	流山市史研究 第12号	1,050	1
12 流山の道	1,260	4	流山市史研究 第13号	1,050	1
13 流山糧秣廠	1,050	12	流山市史研究 第14号	1,050	1
16 不思議	1,360	3	流山市史研究 第15号	1,050	14
17 下総のはにわ	520	7	流山市史研究 第16号	730	4
18 流山と自転車	580	6	流山市史研究 第17号	500	18
19 中野久木谷頭遺跡	900	19	流山市史研究 第18号	500	60
20 吉野誠の世界	600	6	流山市史 八木村誌	4,200	2
21 流山の醸造業Ⅰ【資料編】	1,260	18	流山市史 流山町誌	4,200	1
聞き書き 流山の野菜作り	340	88	流山市史 新川村文書	4,200	1
常設展示図録	560	65	流山市史 利根運河	5,250	3
展示図録(第2集)	520	—	流山市史 近世資料編Ⅰ	5,250	1
館蔵品図録	1,050	1	流山市史 近世資料編Ⅱ	5,250	1
館蔵品図録Ⅱ	1,050	—	流山市史 近世資料編Ⅲ	6,300	1
流山のむかし	500	148	流山市史 近世資料編Ⅳ	6,300	1
流山市文化財マップ	300	36	流山市史 近世資料編Ⅴ	6,300	1
笹岡了一人と画業の軌跡	730	2	流山市史 近世資料編Ⅵ	4,720	1
テレホンカード	800	7	流山市史 植物編	4,200	1
メモパッド	100	508	流山市史 民俗編	6,300	2
流山市史研究 第3号	1,050	1	流山市史 文化財編	4,200	3
流山市史研究 第4号	1,150	5	流山市史 通史編Ⅰ	2,620	8

## ■ 施設管理

### ● 第2展示室利用状況

企画展で利用していない時は、市民の芸術活動を支援するため、無料で市民に貸出しをしている。利用状況は下表のとおりである。

利用期間	利用内容	申請者(主催)	入館者数
7月1日～7月11日	NHK・流山市立博物館	NHK大河ドラマ 「新選組！」展	3,475人
7月17日～9月19日	流山市立博物館	第1回 企画展	14,054人
10月3日～11月28日	流山市立博物館	第2回 企画展	8,502人
12月4日～1月26日	流山市立博物館	懐かしの流山 写真にみる日々の暮らし	3,183人
2月2日～2月27日	生涯学習課	流山の歴史をさぐる発掘情報2005	2,693人
3月2日～3月6日	流山の風景を描く会	油絵・水彩画展	547人
3月9日～3月31日	流山市立博物館	博物館ミニヨン展	1,208人
合計			33,662人

## Ⅱ 展示公開事業

### ■ 企画展 「新選組流山に入る」

開催期間＝平成16年7月17日（土）～平成16年9月19日（日）

観覧者数＝14,054人

#### 開催趣旨

新選組が敗北を喫する鳥羽・伏見の戦いから流山に至るまでの足跡を追い、新選組が流山に入った目的や行き先を、諸説を紹介しながら、来館者とともに考えていく。

## ■ 企画展 「新選組流山に入る」関連事業

企画展「新選組流山に入る」で展示する資料や新選組についての歴史的位置付けをより深く理解してもらうため、「新選組の子孫と語る会」を実施した。

### 【講演会】

演 題 新選組の子孫と語る会  
講 師 宮川 豊治他

実施日 8月8日（日）  
場 所 文化会館大ホール  
内 容 「子孫が語る新選組」  
「天然理心流演武」

参加者 600名。

## ■ 企画展 「ちょっと昔の暮らし」

開催期間＝平成16年10月3日（日）～平成16年11月28日（日）  
観覧者数＝8,502人

### 開催趣旨

小学校4年生は社会科単元「きょうどに  
ったわるねがい」で、100年くらい前からの  
学習をする。

当館では、この時期に100年くらい前の  
民具や写真を展示し、学習の手助けができ  
ればと考え、企画展「ちょっと昔の暮らし」  
を開催している。毎年少しずつ構成や資料  
を替え、今回が4回目である。この企画展  
には、市内外の小学生が団体で来館し、昔  
の民具の見学や体験などを通じ学習をして  
いる。

また、市民には流山市の100年くらい前  
からの歴史を理解する一助とした。



## 展示概要と主な展示資料

教科書にあわせた展示構成とした。また、企画展にあわせて、常設展示部分に子ども向きの解説をつけて、郷土の歴史についても理解を深めることを目指した。

※（ ）はコーナー別の展示点数・内容

1. 昔の暮らし（80点）  
教科書の挿画に見える民具を衣食住に大別して展示した。  
(柳ごおり・くけ台・箱ぜん・水がめ  
・足付ぜん・車井戸・陶製湯たんぼ  
・きせる・火消しつぼなど)
2. 昔の道具にふれる（21点）  
「ちょっと昔の暮らし」に思いをはせる導入の場。今回は昔の道具を使ってみたり、昔のおモチャで遊んでもらうようにした。  
(ふいご・手桶・手回し式計算機・洗濯機・万華鏡・剣玉・お手玉など)
3. 身のまわりの古い道具（37点）  
100年程前から今に至るまで、その時々  
の生活を支え、彩った道具を展示した。  
(牛車の枠・蓄音機・氷冷蔵庫・糸車  
手回し式電話機・石筆・夏季学習帳  
明治時代の教科書・テレビ・吸入器  
謄写版の道具など)
4. 「見る・聞く・考える」（87点）  
ちょっと昔から今に至るまでの変化を  
子どもたちが追体験するため展示した。  
(貨幣・学校給食レプリカ)

### Ⅲ 教育普及事業

#### ■ ふるさと入門講座・流山今は昔コース

流山に関わる人々の「過ぎし日の暮らし」を掘り起こし、記録することを目的に、地域史の研究者による講義を受け、流山の来し方について考察する契機となることをめざして開催した。(敬称略)

回	期 日	演 題	講 師	参加者数
1	7月4日(日)	郡 義 武 (幕末史研究家)	描かれてきた新選組	68人
2	7月11日(日)	大 出 俊 幸 (新人物往来社元編集局長)	新選組と流山	105人
3	7月18日(日)	青 木 更 吉 (流山市立博物館協議会委員)	新選組が来た道	60人
4	8月7日(土)	多 田 文 夫 (足立区立郷土博物館学芸員)	五兵衛新田と新選組	52人

※第2回は、流山市立博物館友の会との共催で実施した。

大 出 俊 幸

(新人物往来社元編集局長)

#### ■ ふるさと入門講座・石仏コース

石仏について学び、石仏をとおして地域の歴史や、地域の歴史を学ぶ方法、生涯学習の楽しみを知ってもらう目的で開催した。(敬称略)

回	期 日	演 題	講 師	参加者数
1	9月4日(土)	小 川 浩 (昭和女子大学講師)	石仏とは何だろう	40人
2	9月18日(土)	同 上	見学会 (大杉神社ほか)	38人
3	10月16日(土)	同 上	広義の石仏を考える	35人
4	11月13日(土)	同 上	石仏の比較研究	30人

## ■ ふるさと入門講座・考古学コース

江戸時代の考古学の成果を学び、地域の歴史を学ぶ方法や、生涯学習の楽しみを知ってもらう目的で開催した。(敬称略)

回	期 日	演 題	講 師	参加者数
1	11月21日(日)	成瀬 晃 司 東京大学埋蔵文化財調査室	江戸の住空間	45人
2	11月28日(日)	石神 裕 之 慶応大学大学院	江戸時代の墓制	40人
3	12月5日(日)	竹尾 進 (財)東京都文化財センター	江戸時代の銭貨	34人
4	12月19日(日)	大八木 謙 司 新宿区教育委員会	江戸時代の陶磁器	35人

## ■ 博物館子ども教室

学校週5日制に対応するため、市内在住の小中学生を対象として、「茶道教室」「絵画教室」「勾玉づくり」等を毎月1回実施した。

回	期 日	内 容	講 師	参加者数
1	4月24日(土)	流山市茶道親和会	茶道教室	17人
2	5月29日(土)	博物館職員	絵画教室	22人
3	6月12日(土)	博物館学芸員	勾玉づくり	14人
4	7月24日(土)	博物館学芸員	魚や貝などの観察	16人
5	8月21日(土)	博物館職員	絵画教室	23人
6	9月11日(土)	博物館学芸員	勾玉づくり	14人
7	10月16日(土)	博物館学芸員	ながれやまの鉄道	13人
8	11月20日(土)	博物館職員	絵画教室	23人
9	12月11日(土)	博物館学芸員	勾玉づくり	12人
10	1月22日(土)	博物館職員	絵画教室	19人
11	2月12日(土)	流山市茶道親和会	茶道教室	13人
12	3月5日(土)	博物館学芸員	勾玉づくり	17人

## ■ 博物館実務実習生の受入

平成16年度の博物館実習生は、8月25日から9月2日までの6日間、7校の大学から8名の実習生を受け入れた。

### 博物館実務実習日程表

期 日	実 習 内 容
8月25日	ガイダンス、博物館活動概説、館内案内 博物館資料の受け入れと登録
8月26日	民俗資料の登録、考古資料の登録
8月27日	流山の歴史について、市内史跡巡り
8月31日	展示室清掃、ライト点検、温湿度計の用紙替え、水槽清掃
9月1日	写真撮影の知識、写真（焼付）／考古資料の登録
9月2日	展示活動準備

### 博物館実務実習生一覧

	大 学 名	学部名	学年	性別	居住地
1	日本女子大学	文学部	4	女	柏市
2	城西国際大学	人文学部	4	男	三郷市
3	駒沢大学	文学部	4	女	流山市
4	専修大学	文学部	3	女	我孫子市
5	帝京大学	文学部	4	女	柏市
6	東京女子大学	現代文学部	4	女	柏市
7	東京女子大学	文理学部	4	女	柏市
8	大正大学	文学部	4	女	流山市

## ■ 講師派遣

実 施 日	内 容	派 遣 先
10月14日	昔の人々の暮らし	市立西深井小学校（4年生）
10月28日	ちょっと昔の暮らし	市立長崎小学校（4年生）
1月20日	昔の暮らし	市立東小学校（4年生）

## IV 調査研究事業

### ■ 企画展事前調査「吉野誠に関する調査研究」

乾板情報のデジタル化作業とともに、吉野誠に関する調査研究を行った。

### ■ 企画展事前調査「流山の醸造業」

平成17年度第1回企画展の開催に向け、「流山の醸造業」について調査研究を行い、3月に調査研究報告書を刊行した。

### ■ 企画展事前調査「ちょっと昔の暮らし」

平成16年度第2回企画展「ちょっと昔の暮らし」の開催に向け、100年くらい前からの民具や玩具を対象として調査研究を行い、企画展の充実を図った。

### ■ 企画展事前調査「新選組流山に入る」

平成16年度第1回企画展の開催に向けて、資料の調査研究を行い、企画展の充実を図った。

## V 市史編さん事業

### ■ 市史編さん活動

#### ●『流山市史 通史編Ⅱ』の刊行について

体裁 B5判 938ページ 本文2段組 上製本 箱入

内容 幕末～昭和40年代(概ね市制施行まで)の流山市域における歴史について史料をもとに概述した。

#### ●市史編さん審議会の開催

市史編さん事業の推進にあたり、市史編さん事業に対する要望や意見を広く求め、その方向性を検討するため市史編さん審議会を1回実施した。

なお、この会議では平成16年度の事業報告及び平成17年度事業計画を議題としたほか、今後の市史関連刊行物について意見が出された。

#### ●市史執筆者会議の開催

『流山市史 通史編Ⅱ』の刊行準備として執筆者相互による原稿の読み合せを中心に全12回を実施した。

なお、今年度は刊行年度に該当するため年度末は割付など具体的な検討がなされた。

### ■ 教育普及事業

市史編さん事業を周知啓蒙するため下記の事業を実施した。

#### ●「市内史跡巡り」全2回

市民を対象に市内史跡を探訪して流山の歴史について考察するとともに、歴史に関する知識の高揚を図った。

特に第2回は3か所の中世城郭を訪ねるコースで、実際に遺構の防御設備を肌で体感できるため好評であった。

回	期 日	見 学 先	講 師	参加者数
1	4月25日(日)	今上落・江戸川～旧流山市街～浅間神社～常与寺～閻魔堂～近藤勇陣屋跡～赤城神社～光明院～一茶双樹記念館(解散)	博物館職員	23人
2	11月20日(土)	東部公民館～広寿寺～清瀧院～前ヶ崎城址～小金城址(解散)	博物館職員	29人

### ●「古文書解読講座」全10回

初心者を対象とし、古文書の解読及び活用、保存についてその基礎を習得する講座である。

講座は第1回から第6回までを前期とし、古文書の基礎知識・村方書・寺方文書について博物館職員が講師にあたり、第7回以降を後期として外部講師による中世文書で構成し、内容の充実に留意した。

(敬称略)

回	期 日	場 所	内 容	講 師	参加者数	
1	5月 8日(土)	図書館 会議室	古文書解読の基礎知識	博物館職員	32人	
2	5月15日(土)				29人	
3	5月29日(土)		村方文書 (五人組帳前書)		27人	
4	7月10日(土)				23人	
5	7月31日(土)		寺方文書 (清瀧院文書)		18人	
6	7月14日(土)				20人	
7	10月24日(日)		千葉妙見大絵巻		丸井 敬司 千葉市郷土博物館副館長	49人
8	10月31日(日)					35人
9	11月 7日(日)		吉野家文書 (高城安堵状)		平野 明夫 国学院大学講師	39人
10	11月14日(日)					35人

### ●「史料探索講座」全5回

文献史料を収蔵公開している文書館、研究所等の公的機関を見学し、収蔵されている史料の内容及び整理方法、利用方法について説明を受けるとともに、書庫、保存設備等の施設見学を実施した。

なお、見学先の多くが休日閉館のため参加者が限定されてしまい、加えて天候にも左右されるため見学先の選定などの課題がある。

しかし、博物館見学とは異なり、普段は見られない保存設備を見学できるため文献資料の保存活用を啓蒙するには効果的な内容である。

回	期 日	見 学 先	主な見学内容	参加者数
1	9月29日(木)	千葉県文書館	千葉県行政文書・収蔵設備	8人
2	10月 6日(木)	国立公文書館	鉄道敷設許認可原本・法律原本	7人
3	10月20日(木)	埼玉県立文書館	保存処置設備	9人
4	10月27日(木)	大原幽学記念館	漉嵌で修復した原本とその方法	8人
5	11月10日(木)	成田山仏教図書館	専門雑誌の収集保管	10人



●「講師派遣」

市民を中心とした史跡同好会や研究グループ及び県内博物館に対し、博物館職員を講師として派遣して流山の歴史及び市史編さん事業を周知した。

(敬称略)

回	期 日	派 遣 先	内 容	参加者数
1	4月 4日(日)	新選組流山隊一番隊	市内史跡巡り(旧流山市街)	50人
2	4月 6日(火)	流山市人事課	新規採用職員研修 (流山市の歴史)	14人
3	4月14日(水)	東深井小学校(6年生)	総合学習(社会科歴史学習)	96人
4	4月23日(金)	流山市ゆうゆう大学	講義(流山の歴史)	55人
5	4月25日(日)	ひまわり会	講義(流山の歴史)	32人
6	4月28日(水)	流山市ゆうゆう大学	講義(郷土史)	48人
7	5月14日(金)	流山市ゆうゆう大学	講義(流山の歴史)	55人
8	5月27日(木)	流山市ゆうゆう大学	市内史跡巡り(旧流山市街)	62人
9	6月29日(火)	流山小学校(6年生)	総合学習(社会科歴史学習)	92人
10	7月 2日(金)	鱈ヶ崎小学校(3年生)	総合学習(学区内の名所旧跡)	87人
11	9月24日(金)	鎌ヶ谷市立図書館	市内史跡巡り(旧流山市街)	45人
12	9月26日(日)	日本女子大学 教育文化振興桜楓会	市内史跡巡り(旧流山市街)	30人
13	10月23日(土)	千葉県立関宿城博物館	関宿城博物館主催古文書講座	20人
14	11月 4日(木)	鎌ヶ谷市北部公民館	市内史跡巡り(旧流山市街)	56人
15	11月21日(日)	流山市シルバー人材 センター互助会	市内史跡巡り(旧流山市街)	25人
16	11月27日(土)	千葉県立関宿城博物館	関宿城博物館古文書講座	20人
17	11月28日(日)	本埜村公民館	市内史跡巡り(旧流山市街)	19人
18	12月 3日(金)	柏市中央公民館	講義(新選組 歴史の足跡)	44人
19	12月18日(土)	千葉県立関宿城博物館	関宿城博物館主催古文書講座	20人
20	1月22日(土)	千葉県立関宿城博物館	関宿城博物館主催古文書講座	20人
21	3月19日(土)	老人クラブ平成会	講義(東武野田線の歴史)	26人
22	3月26日(土)	東京都退職校長会 千葉北部支部	市内史跡巡り(旧流山市街)	9人

## ■ 調査研究事業

### ● 文献史料のインターネット公開

既に収集し、あるいは保管している文献史料をインターネット上で公開する準備として、目録のデータベース化、マイクロフィルムのデータベース化を中心に事業を行った。

文献史料をインターネット上で公開するにあたっては目録と史料が一致することはもとより、史料名の表記方法の統一、日付の表記方法を統一することなど細部での目録整備が重要となってくるため、今年度は目録の入力及び表記の統一を中心に実施した。

また、公開する画像は現在までに収録したマイクロフィルムの画像を使用することを前提にしているため、博物館が収蔵しているマイクロフィルム約400本の目録化を実施した。しかし、インターネット上での公開にあたっては最終的にはマイクロフィルム1コマ単位での目録化が必要であるため、その効率的な処理方法を検討しているところである。

この他、インターネット上での公開のためには、画像のデジタル化(画像の補正を含む)、解読文のテキストファイル化などの作業を必要とするほか、個人情報保護、千葉県内の市町村との連携(書式の統一)などが、検討課題となっている。

## VI 収集保管事業

### ■ 新収蔵資料

#### 受贈資料一覧

No.	受入日	資 料 名	点数	寄贈者名(敬称略)
1	7.27	児童書	8	吉野 利子 (流山市)
2	7.30	岡持・飯櫃・桶・籠・笊・葛籠・掛軸他	28	秋元 光昭 (流山市)
3	8.4	布団袋	1	石川 幸子 (松戸市)
4	8.25	大町桂月著「筆のしずく」	1	薮崎 恒雄 (柏市)
5	9.8	電気アンカ・日の丸の旗・びく他	6	久保 葉子 (流山市)
6	9.9	額 (赤城台駅の写真)	1	今野 敏昭 (流山市)
7	10.19	列車運行図表	3	山下 耕一 (流山市)
8	11.2	カメラ	1	寺島 熙幸 (流山市)
9	11.2	古写真	7	武田 恭子 (流山市)
10	11.9	防寒コート (着物)	1	秋元 由美子 (流山市)
11	11.10	オルガン・張り板・手あぶり・屏風	4	池田 悦子 (流山市)
12	11.17	三合飯釜・お櫃	2	能登 与五郎 (流山市)
13	11.18	鉢巻「特攻」・腕章「学徒勤労報国隊」	2	武田 恭子 (流山市)
14	11.30	鬼瓦「大上」	1	大塚 貞夫 (流山市)
15	12.8	珍袖 木曾街道膝栗毛	1	武田 恭子 (流山市)
16	12.16	柳こうり	1	小林 昭次 (流山市)
17	1.25	腕用ポンプ本体・吸水管・ホース・ポンプ積載用台車・ホース巻き用台車他	10	流山市消防団第4分団団長 野口裕之 (流山市)
18	1.27	市松人形	1	倉科 武 (流山市)
19	1.27	国民服の上着・雑のう・ゲートル他	173	大塚 愛子 (流山市)
20	2.10	火鉢・湯たんぼ・唐竿・古銭他	28	秋元 延之 (流山市)
21	2.15	手あぶり・扇風機・蓄音機・レコード	20	角田 英雄 (流山市)
22	3.1	三輪野山貝塚貝層剥ぎ取り断面標本	一式	教育長 鈴木昭夫 (流山市)
23	3.2	旧陸軍小銃用銃剣	45	千葉県警察流山警察署署長 加藤哲夫 (流山市)
24	3.2	一式固機甲旋回機銃・一式固機乙旋回機銃・ホ五式翼内機銃	3	国土交通省関東地方整備局 江戸川河川事務所松戸出張所所長 金子史朗 (松戸市)

## ■ 二次資料

購入図書 37冊  
 受贈図書 761冊  
 受贈機関 296か所

## ■ 資料の館外貸出

博物館資料館外貸出状況

No.	貸出期間	資料名称	点数	貸出先	事由
1	4. 1～3. 31	坂本 直画 「加岸の家」	1	水道局	展示
2	5. 1～4. 30	秋元松子画 「枯れた花」 「残花」 「花に寄せて」	3	図書館（北部地域図書館）	展示
3	12. 22～3. 4	看板（碁会所・古物商・ 両替商・行灯屋・馬具屋・ 火薬花火玉屋・易者・和 装結髪所・火のし・諸国 贈状）	10	成田山霊光館	展示
4	1. 19～2. 2	笠・足付膳・有明行灯・ 鯨尺・張り板他	37	東小学校	教材
5	2. 16～2. 18	蓄音機・七輪・アイロン・ 洗濯板・計算機	5	鱈ヶ崎小学校	教材

## ■ 資料の撮影・転載許可

博物館資料撮影・転載許可

No.	許可日	資料名称	点数	申請者	事由
1	9. 24	中野久木谷頭跡 C 地点出土縄 文時代中期土器	8	国学院大学大学院文学研究 科 教授 小林 達雄	撮影
2	10. 15	三輪野山貝塚出土硬玉製垂飾	3	宇賀神 弘	閲覧
3	11. 25	味醂の小旗を揚げた高瀬船	1	(株) アイアンドディ	掲載
4	12. 22	桐ヶ谷新田第Ⅱ遺跡（縄文時 代早期の土器）	1	松戸市教育委員会	閲覧
5	12. 23	吉野利子氏邸の写真	1	我孫子市教育委員会	掲載

## Ⅶ 流山市立博物館のあらまし

### ■ 設置の目的

流山市立博物館の前身である流山市郷土資料館は、流山市市制施行10周年記念事業のひとつで、市立図書館との複合施設として昭和53年6月1日に開館した。流山市が首都30km圏内に位置し人口が急増する中で、急速に失われていく文化財や郷土資料を保存・展示するためである。それ以前には市史編さん室が文化財保護行政も担当しながら郷土資料室をもち、民具等資料の収蔵・展示も行っていた。郷土資料館はそれを更に充実拡大するものであった。用地はかつて、葛飾県・印旛県の県庁が置かれていた流山市加の台地上である。

### ■ 沿革

- 昭和42年 1月 1日 流山市市制施行
- 昭和42年 教育委員会に市史編さん担当がおかれ、文化財保護行政も担当する
- 昭和49年 流山市の3か年実施計画に市立図書館の構想が盛られる
- 昭和50年 実施計画のマスタープランに、図書館との複合施設として、郷土資料館が浮上、市制施行10周年記念事業に位置付けられる
- 昭和51年 市史編さん室設置
- 昭和52年 4月 1日 流山市文化財保護条例施行
- 昭和52年 コレクター永井仁三郎氏により、資料寄贈の申し入れ
- 昭和52年 7月 15日 郷土資料館開設準備室設置、文化財保護行政は準備室が担当
- 昭和53年 4月 1日 「流山市郷土資料館」公の施設として設置  
館長の下に庶務係と学芸係
- 昭和53年 6月 1日 流山市郷土資料館開館 常設展 流山ーその風土と歴史  
武士と町人ー永井コレクションより  
小企画展も開催し、以降毎年企画展を開催する
- 昭和54年 10月 1日 設置条例を改正し、教育機関となる
- 昭和55年 3月 1日 流山市郷土資料館協議会設置
- 昭和55年 3月 20日 博物館法に基づく登録館となる
- 昭和55年 4月 1日 文化財保護行政を社会教育課に移管
- 昭和56年 4月 1日 流山市史編さん審議会条例施行
- 昭和57年 3月 31日 流山市史近代資料編「八木村誌」を刊行し、以降市史資料編を刊行
- 昭和59年 4月 1日 名称を「流山市立博物館」と改称する  
教育委員会に部制がしかれ、社会教育部に所属する  
機構改革により庶務係、学芸係が一本化されて管理係に、市史編さん室が博物館に統合され、市史編さん係となる
- 昭和63年 9月 3日 永井コレクションを中心にオーストラリア ブロードメドウ市で「日本文化展」を開催 9月30日まで
- 昭和63年 10月 15日 企画展 武士と町人ー永井コレクションよりーを収蔵展に展示替え
- 平成9年 4月 1日 機構改革により社会教育部が生涯学習部となる

平成 12 年 12 月 22 日 リニューアル改修工事着手

平成 13 年 4 月 1 日 常設展を新たにし、第 2 展示室を設置してリニューアルオープン

平成 14 年 4 月 1 日 一茶双樹記念館及び社会教育ギャラリー（杜のアトリエ黎明）が博物館の所管となる

機構改革により管理係と学芸係となる

## ■ 施設概要

### 1 規模

建築面積		1,131.00 m <sup>2</sup>
延床面積	2階	720.00 m <sup>2</sup>
	3階	960.00 m <sup>2</sup>
	<b>R</b> 階	72.00 m <sup>2</sup>
	合計	1,752.00 m <sup>2</sup>
敷地面積		4,826.78 m <sup>2</sup>
	(図書館敷地を含む)	

### 2 構造

鉄筋コンクリート造り2階建  
(図書館と複合施設)

### 3 建物設計・監理

ザイマ・サトー建築設計事務所

### 4 建築工事

清水建設株式会社

着工 昭和52年7月26日

竣工 昭和53年3月20日

### 5 各室面積一覧

階	室名	延面積
2階	収蔵庫	384.0 m <sup>2</sup>
	荷解室	24.0 m <sup>2</sup>
	暗室及び印刷室	8.0 m <sup>2</sup>
	研究工作室	32.0 m <sup>2</sup>
	前室	24.0 m <sup>2</sup>
	事務室	48.0 m <sup>2</sup>
	応接室	27.0 m <sup>2</sup>
	整備・機械室	4.6 m <sup>2</sup>
	掃除物置及び管理室	11.6 m <sup>2</sup>
	男・女トイレ	20.0 m <sup>2</sup>
	階段室	12.0 m <sup>2</sup>
	廊下	56.8 m <sup>2</sup>
	展示コーナー	20.0 m <sup>2</sup>
	ホール	48.0 m <sup>2</sup>
	小計	720.0 m <sup>2</sup>
3階	展示室	916.0 m <sup>2</sup>
	第2展示室(展示室のうち)	(137.0 m <sup>2</sup> )
	階段室	32.0 m <sup>2</sup>
	ダクトスペース	12.0 m <sup>2</sup>
小計	960.0 m <sup>2</sup>	
<b>R</b> 階	機械室	72.0 m <sup>2</sup>
合計		1,752.0 m <sup>2</sup>

### 6 建物総工費 254,613千円 内訳

### 7 資金内訳

国庫補助金	32,000,000円
県費補助金	32,000,000円
地方債	50,000,000円
一般財源	140,613,000円
合計	254,613,000円

本体工事費	178,269,210 円
電気工事費	28,500,000 円
付帯工事費 給排水工事費 冷暖房工事費 小計	12,606,000 円 28,064,000 円 69,170,000 円
その他 事務費 外構工事費 小計	6,613,000 円 560,790 円 7,173,790 円
合計	254,613,000 円

- 8 展示設計・施工  
日本エキジビション企画プロダクショ
- 9 展示総事業費  
46,250 千円
- 10 収蔵庫増設費  
19,600 千円
- 11 リニューアル事業費

43,129 千円

## ■ 設備概要

### 1 電気設備

- (1) 受電設備 3相3線 6,600V 50Hz
- (2) 変圧器 屋外用油入自冷式
- (3) 進相コンデンサー 3相 100KVA 2台
- (4) 予備電源（蓄電池） 12V 120AH

### 2 空調設備

- (1) 一般系統 冷温水機・空気調和機
- (2) 収蔵庫系統 空冷式空調機・24時間運転
- (3) 展示ケース系統 空冷式空調機・24時間運転

### 3 放送設備

- (1) 普通用・一般アナウンス
- (2) 非常用

### 5 防火設備

- (1) ハロン1301 消化設備（収蔵庫）
- (2) 自動火災報知設備
- (3) 屋内消火栓設備

### 4 昇降設備（収蔵庫～展示室）

- 積載量 300 kg
- かご 1m×1m×1.2m(H)

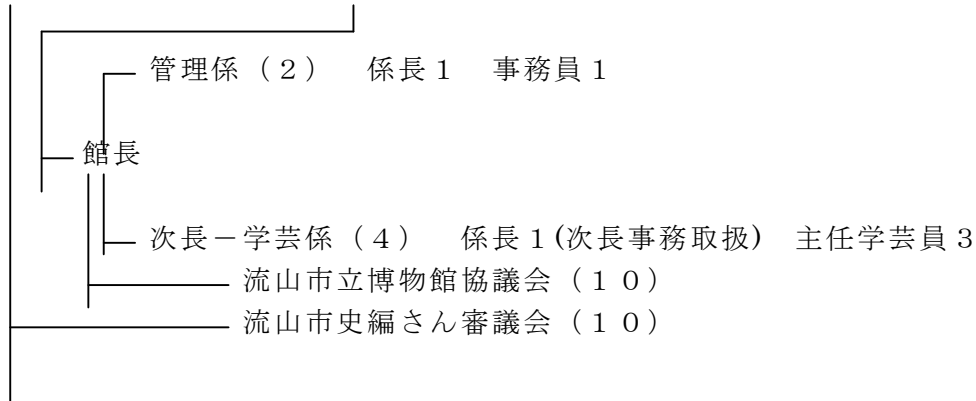
### 6 防犯設備

- 総合ガードシステム（委託）



## ■ 平成16年度博物館組織

教育委員会－教育長－生涯学習部長



## ■ 流山市立博物館協議会委員

任期 平成16年5月18日から平成18年5月17日まで

区分	氏名	役職	備考
学校教育	村田 一二	流山市立江戸川台小学校校長	副会長
	坂口 茂美	流山市立西初石中学校校長	
社会教育	青木 更吉	流山市立博物館友の会	会長
	柴崎 寛子	流山市美術家協会副会長	
学識経験	下津谷 達男	元国学院栃木短期大学教授	
	森 尚登	県立総南博物館学芸課長	
	池田 哲朗		
	岩崎 正樹		
	折戸 直子		
	辻野 弥生		

## ■ 流山市史編さん審議会委員

任期 平成15年7月12日から平成17年7月11日まで

区分	氏名	役職	備考
第1号選出	家山和夫	元教員・元社会教育指導員	副会長
	小川浩	昭和女子大学文学部講師	
	栗山秀純	大正大学教授	会長
	斎藤芳子	元市職員	
	酒井文英	広寿寺住職	
	下津谷達男	元国学院栃木短期大学教授	
	高橋一元	元市職員・長流寺住職	
	中川建三	元教員・元柏市社会教育指導員	
	堀部昭夫	千葉県立現代産業科学館副館長	
第2号選出	松本好夫	図書館長	

## ■ 職員（平成16年度）

館長 : 池田 孝  
 次長 : 川根 正教  
 管理係 係長 : 佐々木 則夫  
           事務員 : 吉田 丈展  
 学芸係 係長 : 川根次長事務取扱  
           主任学芸員 : 山下 耕一・増崎恵美子・遠山 仁恵

## ■ 臨時職員

一般事務（管理係） 1人  
 一般事務（一茶双樹記念館） 4人  
 資料調査員 1人  
 資料整理員（学芸係） 5人  
 企画展監視員 2人

## Ⅷ 一茶双樹記念館利用状況

### ■ 一茶双樹記念館入館者数

月	一般個人	一般団体	小中個人	小中団体	割引	免除	観覧者合計	施設使用者	入館者合計
4月	419人	80人	12人	人	人	254人	765人	283人	1,048人
5月	361人	51人	15人			262人	689人	185人	874人
6月	195人	54人	4人			210人	463人	77人	540人
7月	229人	40人	19人			114人	402人	86人	488人
8月	345人	53人	67人			147人	612人	18人	630人
9月	382人	498人	14人	6人		248人	1,148人	57人	1,205人
10月	364人	118人	17人			156人	655人	311人	966人
11月	446人	164人	20人			290人	920人	63人	983人
12月	346人	41人	20人			157人	564人	190人	249人
1月	212人	12人	13人			82人	319人	87人	406人
2月	127人	5人	2人			65人	199人	56人	255人
3月	139人	24人	4人			121人	288人	40人	328人
合計	3,565人	1,140人	207人	6人	0人	2,106人	7,024人	1,453人	8,477人

● 一茶双樹記念館

使用申請からみた利用状況

月	使用目的				使用団体							使用施設			
	茶会	句会	その他	計	市内	市外				県外	計	一茶庵	双樹亭	両施設	計
						柏市	松戸市	我孫子市	その他						
4月	2	3	2	7	6					1	7	3		4	7
5月	4		4	8	8						8	7	1		8
6月	5	2	1	8	7				1		8	5	3		8
7月	4	1	2	7	7						7	4	2	1	7
8月		1	1	2	2						2	2			2
9月	10	1	3	14	14						14	9	2	3	14
10月	2	1	1	4	4						4	3	1		4
11月	3		2	5	5						5	5			5
12月	2		1	3	3						3	2	1		3
1月	2	1		3	3						3	3			3
2月	1	1	2	4	4						4	4			4
3月	1		3	4	4						4	4			4
合計	36	11	22	69	67				1	1	69	51	10	8	69

## Ⅸ 杜のアトリエ黎明利用状況

### ■ 杜のアトリエ黎明利用状況

月	作品展	行事	会議	その他	合計利用件数	利用日数	入館者合計
4月	3件				3件	26日	573人
5月	3件	1件			4件	24日	919人
6月	3件				3件	24日	759人
7月	1件			4件	5件	19日	259人
8月	2件	1件	1件		4件	24日	361人
9月	2件				2件	26日	1,038人
10月	3件		1件	2件	6件	27日	839人
11月	3件	1件	1件		5件	25日	727人
12月	3件			1件	4件	22日	352人
1月	3件	1件	2件	1件	7件	23日	313人
2月	3件		2件	1件	6件	24日	247人
3月	2件		2件		4件	27日	317人
合計	31件	4件	9件	9件	53件	291日	6,704人

● 社のアトリエ黎明  
使用申請からみた利用状況

月	作 品 展			行 事			会 議			そ の 他			合 計		
	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計
4月	1		1										1		1
5月	2		2							3		3	5		5
6月	1		1	1		1				1		1	3		3
7月	1		1				1		1	2		2	4		4
8月	2		2				1		1				3		3
9月							1		1	1		1	2		2
10月							1		1				1		1
11月										1		1	1		1
12月	1		1							1		1	2		2
1月							7		7	1		1	8		8
2月	1		1				3		3	1		1	5		5
3月	1		1										1		1
合計	10		10	1		1	14		14	11		11	36		36

## X 博物館友の会活動状況

平成16年度の活動経過を報告致します。前年に引き続き文章、朗読、川柳の3講座は新会員をむかえてそれぞれ盛況であります。特に朗読講座は今年是一年おきの発表年にあたり、文化会館で盛大な発表会を開きました。また、文章講座は開講20周年に当たり、運河ゆかりの新川で運河に因む郷土詩人の詩を学習し、東葛流山研究も

23冊目を発刊いたしました。個人出版も盛んですが、ここでは省略いたします。特別企画では近藤勇忌や大出さんの「新選組と流山」と題

しての講演会、また、5月には春の江戸川堤を歩いて野草の勉強を致しました。

歴史散歩では中村哲夫さんの横浜山の手洋館散歩、相原正義さんの佐原文学歴史散歩、青木更吉さんの野馬土手歴史散歩のほか、路上観察学会やミニ講演会が開かれました。

また、今年には山本鉦太郎さんのアンコール奥の細道もスタートし、何れも好評を博しました。その他、恒例の納涼の夕べ、新年会、忘年会では新しい工夫を凝らし、思いで深い1年となりました。

### ● 1年間の足跡 (毎月の文章、朗読、川柳の3講座は省略)

16.4.4	友の会役員会	
16.4.29	友の会総会 北野道彦賞授賞式	柏フェニックスホテル
16.5.22	「におどり」第72号発刊	
16.5.30	水と遊ぶ「春の江戸川堤を歩く」	講師 新保 国弘
16.6.20	横浜山の手洋館散歩	講師 中村 哲夫
16.7.11	講演「新選組と流山」	講師 大出 俊幸 (博物館と共催)
16.7.30	「におどり」73号発刊	
16.8.8	納涼の夕べ	小倉ホール
16.9.3~5	アンコール「奥の細道の旅」	講師 山本 鉦太郎
16.10.11	佐原歴史文学散歩	講師 相原 正義
16.10.16	朗読講座発表会	流山文化会館
16.11.7	流山路上観察学会・初石周辺	講師 日下部 福島 相原 山本 新保
16.12.19	爆笑忘年会	小倉ホール
17.1.16	東京初詣散歩と新年会	講師 山本 鉦太郎
17.2.20	ミニ講演会	小倉ホール
17.3.13	房総野馬土手散歩	講師 青木 更吉
17.3.20	東葛流山研究23号発刊	
17.3.25	「におどり」74号発刊	

# ご あ ん な い

- 交 通：〔電 車〕 J R 馬橋駅又は新松戸駅より流山線に乗換。  
流山駅下車。徒歩7分

20分

つくばエクスプレス流山セントラルパーク駅下車 徒歩

〔バ ス〕京成バス・東武バス。文化会館入口下車

〔自動車〕県道松戸野田線流山中央交番前。

- 開館時間：午前9時30分から午後5時00分まで
- 休 館 日：毎週月曜日（国民の祝日が月曜日の場合はその翌日）  
毎月月末の日（但し、月末の日が土・日曜日の場合は除く）  
年末年始、その他臨時休館があります。
- 入 館 料：特別展を除き入館料は無料です。  
特別展（大人 210円、小人 100円）  
但し、団体など減免方法がありますので、お問い合わせください。



流山市立博物館

年 報            NO. 27            2005

平成17年11月15日      発 行

編集・発行      流山市立博物館

千葉県流山市加一丁目1225-6

TEL : 04-7159-3434

FAX : 04-7159-9998